

第6学年 音楽科学習指導案

1 題材名 日本や世界の音楽に親しもう (世界の国々の音楽)

2 題材指導計画

次	時	主な学習内容
1	1	雅楽「越天楽」を聴き、曲想と楽器の音色や旋律の特徴との関わりについて理解する。
	2	「越天楽今様」を歌うことを通して、日本に古くから伝わる旋律の特徴を感じ取り、ふさわしい歌い方を工夫して歌う。
2	3	様々な国の楽器や音色に関心をもって聴き、曲想と楽器の音色や旋律の特徴との関わりについて理解する。
	4	それぞれの国の音楽の楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、雰囲気や文化的背景との関わりについて考え、気に入った音楽についてまとめる。

3 本時について (4/4)

(1) ねらい

気に入った音楽について、比較したり、資料で調べたり、実感したりしながら聴くことを通して、それぞれの国の音楽の楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、雰囲気や文化的背景との関わりについて考え、まとめることができる。

(2) 評価規準

それぞれの国の音楽の楽器の音色や旋律の特徴を聴き取り、雰囲気や文化的背景の違いとの関わりについて考え、曲全体を味わって聴いている。(思考・判断・表現)

(3) 学習展開

進	学習活動	教師の指導・援助 (留意点)
導入	1 前回の復習をする。 ・ガムランは金属製の打楽器を使っていて、カチャカチャした音がしていたよ。	・音色や旋律、演奏されていた場面について問い、実際に声を真似てみたり、オノマトペで表現したりして音楽の特徴を味わうことを確認して課題化を図る。
展開	2 本時の課題を確認する。 自分が選んだ国の音楽についてグループでまとめ、紹介しよう。	・音楽室とパソコン室を使用し、各教室3班ずつで活動を行う。
	3 各グループで話し合いをする。 ・オルティンドーは、女性が高音で旋律を歌っていました。馬頭琴はかすれた音色で、どこか切ない雰囲気があります。	・「音色」「旋律」の2つに着目して音楽を聴くようにする。
	4 全体で中間交流を行う。 ・グリオは音がギターみたいだけどギターより明るい音色だ。(比較) ・メヘテルハーネはトルコで昔、軍隊が遠征に出かける際に演奏していたらしいね。野球の応援みたいに迫力があるね。(資料) ・バグパイプは「プアーアーアー♪」という感じで、旋律がずっと伸びやかに続いているね。(実感)	・グループ交流において、比較したり、資料で調べたり、実感したりしながら聴くことを促す。また、そのように聴いているグループを意図的に指名する。
	5 各グループで意見をまとめ、全体交流を行う。 ・オルティンドーは、女性が高音で旋律をのびやかに歌っています。大草原が広がるモンゴルで歌われていたことから、自然を思いながらのびのびとした旋律になっているのかなと思い、素敵な雰囲気の音楽だと思いました。(実感・資料)	【ICT活用の工夫】 ・音源を流すものと、それぞれの音楽についての資料を閲覧するもので、各グループ2台ずつタブレットを用いる。 ・各タブレットにBluetoothスピーカーを繋ぎ、よりクリアな音で音楽を聴くことができるようにする。
終末	6 全体で世界の国々の音楽を聴き、本時の学習を振り返る。 ・それぞれの国によって、見た目が似たような楽器でも、演奏の仕方や音色が違ったり、独特な声の出し方をして旋律をつないだりして、どの音楽も素敵だと思った。 ・他の国の音楽は、どんな音楽なのか。	・協働学習支援ツールで各グループがまとめた意見を共有し、音楽を聴きながらそれぞれの音楽の特徴に着目できるようにする。 ■展開3・5、終末6において、発言内容、記述内容から(思考・判断・表現)を評価する。